

# 金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/05/01号

一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

## 円建てゴールド円安で歴史的な高値更新

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



ゴールドは本格的な調整局面にはなかなか入らないようです。先週のレポートで、「近い将来ふたたび歴史的な高値を更新すると思います。」と締めましたが、金曜日には円建てゴールドがふたたび歴史的な高値を更新しました。これは日銀の新植田総裁初の金融政策決定会合で大規模金融緩和の継続が発表され、長期緩和の検証実施は発表されたもののそれにかかる時間を1年から1年半と長くするというので、ドル円は円安へと動き、133.80円から136.50円まで2.7円も円安がすすみ、逆にドル建ゴールドは1990ドルから一時1980ドルまで下げたものの、金曜日終わりは136.30円という円安にもかかわらず、1990ドルで引けとなり、つまり円安分だけ円建てゴールドが上がるというまさに円建てゴールド最強説（提唱者自分。笑）を裏付ける形となりました。円はそういった意味ではローカルカレンシーであり、円安がドル高という認識は、少なくともゴールドにはほとんど意識されていないと言えるかもしれません。その結果円建てのゴールドは金曜日だけで200円もの上昇となりました。新歴史的な高値は8731円。円建てのゴールドの天井がいくらになるのか、正直全く検討が付きません。しかし、現状を客観的に見る限りまだまだ上値余地はありそうです。円の独歩安に加えてドル建ゴールドの下値には執拗な買い意欲があり堅調です。1月2月とシンガポール通貨庁がまとまった量のゴールドを買いマーケットを驚かせましたが、3月もまた17.3トンの買いとなり、年初からの買った量は68.7トンとなりました。このような買いが続く以上、円建てのゴールドは特に上昇余地が大きいと考えられます。短期的な利益を狙うというより、長期的にポートフォリオの一部として特に日本人がゴールドを保有する意味は、通貨の価値の目減り＝インフレ、そしてそれに輪をかけて進む円の価値毀損に対するヘッジとして、ゴールドが最も適していると考えます。

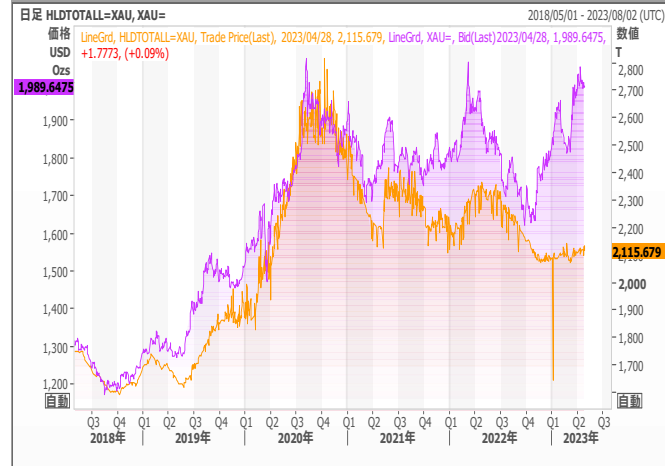
本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

# 金ETF証拠金取引|WEEKLY REPORT

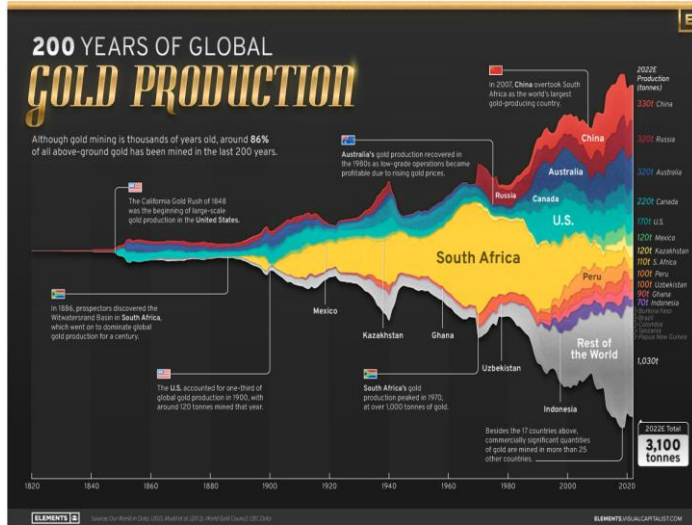
## 【マーケット・トピック】

### 「ゴールド生産の200年」

ゴールドの生産は有史来人類の歴史5000年とともにありますが、その生産量の86%は過去200年に生産されています。Visual capitalistの下の図表はそれが端的に表されています。1970年の南アの生産量が1000トン。それが現在は110トンまで減少しており、現在は中国330トン、ロシア320トン、オーストラリア320トンの3国が300トンを超える量を生産しており、全世界の生産量の31%をしめています。しかし世界的分布の広がりを見るとゴールドの供給は安定していると言えるでしょう。



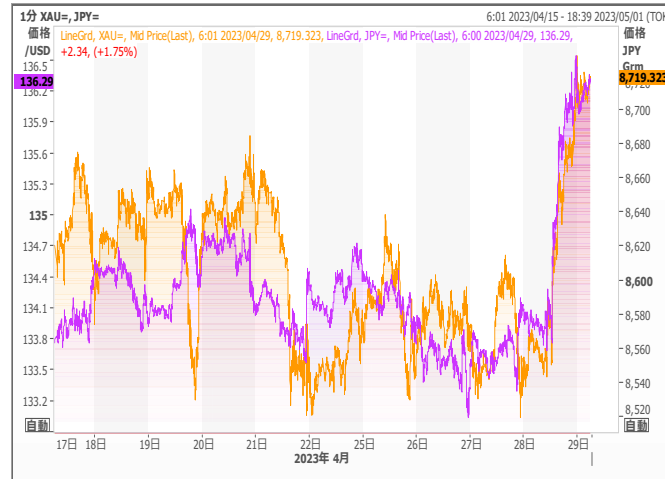
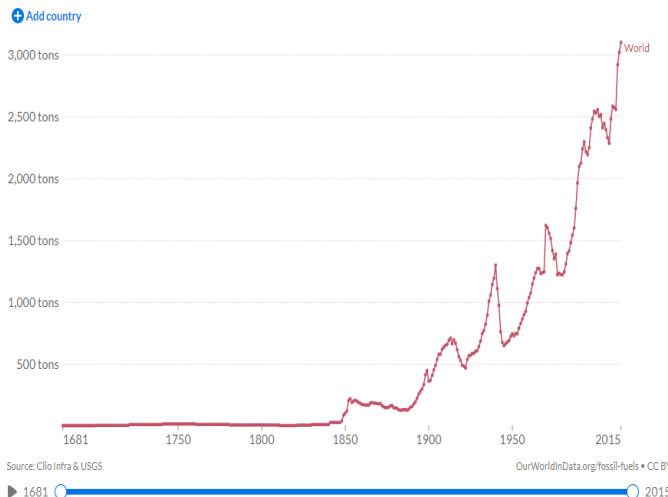
Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド

### Gold production, 1681 to 2015

Annual gold production, measured in metric tons per year.



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーマー）をお読み下さい。

## 【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 [info@jbma.net](mailto:info@jbma.net)

### 池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は  
ツイッターで

